

警 察 署 協 議 会 会 議 録

八幡西警察署協議会

開催年月日時	令和2年11月19日 午後2時00分 から 令和2年11月19日 午後3時45分 まで	
開催場所	八幡西警察署 3階大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下14名
	警察署	署長、副署長、刑事管理官、総務課長、 留置管理課長、会計課長、生活安全課長、 地域課長、刑事第一課長、刑事第二課長、 交通課長、黒崎警部交番所長、事務局（1名）
議 事 概 要		
<p>【会長挨拶（要旨）】</p> <p>新規委員の方を迎えて、初めての定例会議となるが、今までどおり、また今まで以上に闊達な意見が交わされることを期待する。</p> <p>本協議会では闊達な意見が交わされ、また警察署の方々も素早く対応していただき、とても良い関係が築かれているが、本協議会のやり方が常に正しいとは限らない。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大という、今までとは違う状況の中、他にも良いやり方があるのかもしれないので、本日の会議では、警察への意見はもちろんのこと、運営方法等についても闊達な意見を出していただき、より良いものにしていきたいと思う。</p> <p>【署長挨拶（要旨）】</p> <p>今年度に入り、初めての定例会議となる。</p> <p>今年度、世間では緊急事態宣言の発令や不要不急の外出制限など、様々なことが起こった。</p> <p>7月には令和2年7月豪雨が発生し、9月には非常に強い勢力を持った台風10号が九州を縦断した。</p> <p>その様な状況の中で、署員は一丸となって警察活動に取り組んでいる。</p> <p>令和2年も残り僅かではあり、様々な問題で落ち着かない状況下ではあるが、住民の方々が事件事故に遭わないよう、住民の方々の意見を取り入れながら警察運営に反映させていきたいと思っているので、皆様の御協力をお願いします。</p>		

議 事 概 要

【報告事項等】

- 1 八幡西警察署管内における犯罪発生状況及び新型コロナウイルスによる警察活動への影響
- 2 福岡県自転車の安全で適正な利用の促進及び活用の推進に関する条例（通称福岡県自転車条例）について

【事前質問回答】

- 委員から「自転車における保険加入義務について、自転車貸付業者は業者側に保険加入義務があるが、施設等が無料で自転車を貸し出す場合も業者側が保険に加入しなければいけないのか。」旨の質疑があり、交通課長から「施設等がサービスの一環として無料で貸し出す場合であっても、「貸付業者」という位置付けとなる。そのため、施設側（業者側）が保険加入の義務を負い、更に県に対し、保険に加入した旨の届出が必要となる。」旨の回答があった。
- 委員から「学生賠償責任保険への加入や通常の保険に賠償責任補償を付帯していても、改めて自転車保険に加入する必要があるか。」旨の質疑があり、交通課長から「自動車保険の特約等で付帯している場合もあり、それらに既に加入しているのであれば、改めて別の保険に加入する必要はない。」旨の回答があった。
- 委員から「自転車保険に加入した際は、加入証明のような印が自転車に付くのか。」旨の質疑があり、交通課長から「付かない場合もある。TSマーク（自転車向け保険）のように、自転車整備士が点検確認した普通自転車に貼付される付帯保険もあるが、他の保険の特約で加入している場合などは自転車に印は付かないことが多いと思われる。」旨の回答があった。
- 委員から「自転車は車道・歩道のどちらを走ればいいのか。」旨の質疑があり、交通課長から「自転車は「軽車両」という位置付けとなり、原則、車道の左側を通行することとなる。しかし、自転車通行可となっている箇所や、運転者の年齢や交通状態によっては歩道を通行することも出来る。」旨の回答があった。
- 委員から「高校生など、学校に対して自転車の運転に関する交通ルールの教育はしているのか。」旨の質疑があり、交通課長から「高校等に対しては、適宜、交通教室などの機会に指導をしている。また、人通りの多い場所や下校時間帯の通学路などで、自転車利用者に対し指導等を実施している。」旨の回答があった。
- 委員から「道路に描かれている「飛び出し注意」などペイントは、どの機関が行うのか。また、このようなペイントをする場合、事前に周囲の住民に連絡等はないのか。」旨の質疑があり、交通課長から「質問にある路面表示などは、

議 事 概 要

道路管理者が行っている。事前連絡に関して市道を管理している区役所に問い合わせたところ、このような路面表示は元々住民の方々の要望により実施することが多く、その時点で了承を得たものとして取り扱うため、事前連絡をすることは少ないとのことだった。」旨の回答があった。

- 委員から「押しボタン信号の待機時間が長く、信号無視をする者が多い交差点がある。独立式のすぐに変わる信号に変更できないか。」旨の質疑があり、交通課長から「信号周期の設定等は主道路や側道の交通流動等を考慮して決定しているため、独立式信号への変更により更に渋滞等が発生すると判断した場合は要望に添えない場合もある。しかし、押しボタン信号における歩行者用灯火の秒数を長くする等の方法もあるため、現場を確認し、検討したいと思う。」旨の回答があった。
- 委員から「交差点内の停止線が薄れ、停止線で停止しない車がいる。停止線を塗り替えてもらうことはできないか。」旨の質疑があり、交通課長から「停止線等の交通規制に関連する白線が薄れている場所を教えてもらえれば、現場を確認し、対応する。」旨の回答があった。
- 委員から「児童虐待事案発生時における児童相談所との連携状況を知りたい。」旨の質疑があり、生活安全課長から「児童虐待事案を警察が児童相談所より先に認知した場合、児童相談所に対し、被害児童に関する情報提供、保護の要請等を行う。児童相談所が先に事案を認知した場合、(虐待)行為者に関して事件化が必要な場合は、警察に対し情報提供がある。現在、福岡県警では児童虐待に対応すべく、児童相談所等各自治体等との人事交流を行うなど連携を密にして対応を図っている。」旨の回答があった。

【質疑応答】

- 委員から「知らない電話番号から着信があり、インターネットで着信番号を調べると、怪しい電話番号であるとの書き込みが何件もあった。このような電話に対し、警察は何か対応しているのか。」旨の質疑があり、生活安全課長から、「インターネット上で怪しいと書き込みがなされているだけでは、警察では対処していない。通報や相談等で詳細を聴取し、具体的に詐欺行為が発生しているとの疑いが高い等の確認が取れた場合は着信番号に対して照会等の措置も取れるが、ネットの書き込みだけでは犯罪性が判断できないため、措置は取れない。怪しい電話が架かってきた場合は警察等に相談していただくか、対応しないが良いと思われる。」旨の回答があった。
- 委員から「10代の自転車事故が多いと聞いたが、小、中、高校別にどの世代の事故が多いのか。」旨の質疑があり、交通課長から「年齢別で見れば15～19歳までの年代が多く、時間帯では午前7～9時が多いため、通学中の事故が多いと思われる。」旨の回答があった。

議 事 概 要

- 委員から「昨年と比べて万引きの被害が増加しているとのことだが、これは新型コロナウイルス感染拡大により生活が困窮したことが原因なのか。」旨の質疑があり、署長から「万引き事件の増加については、生活困窮のみが原因であるとは断定できない。所持金があるにも関わらず、万引きをする被疑者も多数いる。」旨の回答があった。
- 委員から「警察官が事案で新型コロナウイルス感染者等と対応する場合、タイベックスーツを感染予防として着用することだが、それは十分に配備されているのか。」旨の質疑があり、署長から「職員らへの感染予防対策としてタイベックスーツは配備数、保管箇所について管理されており、配備は現在のところ十分である。」旨の回答があった。
- 委員から「携帯電話に詐欺と思われるメールが頻繁に送られてくるが、これらは詐欺事件として計上されているのか。」旨の質疑があり、署長から、「被害届が出ていない事件については計上していない。しかし、アポ電が多数発生した際などは、ふっけい安心メールや広報チラシなどで住民の方々へ注意喚起を行っている。」旨の回答があった。
- 委員から「一方通行の規制があるにも関わらず、逆走する車が多い箇所がある。規制の標識が見えにくいのではないかとと思われるため、改善してもらいたい。」旨の要望があり、交通課長から「現場を確認し、改善する。」旨の回答があった。
- 委員から「電話による詐欺被害とメールによるものではどちらが多いのか。」旨の質疑があり、署長から「正確には分かりかねるが、メールは一斉に送信できることもあり、メールでの被害の方が多く思われる。」旨の回答があった。
- 委員から「管内の信号で、信号機の近くまで寄らないと信号の色が確認できないものがある。改善できないか。」旨の要望があり、交通課長から「周辺の信号機との間隔が近い場合などは、近くに寄らないと信号機の色が判別できないようになっているものもあるが、現場を確認し、改善できるようであれば改善する。」旨の回答があった。
- 委員から「窓口申請時に、警察官の市民応接がぞんざいに感じたことがあった。市民対応には気を配ってもらいたい。」旨の意見があり、署長から「あらゆる機会に職員に対して相手の立場に立った警察活動を行うよう指導している。少しでも信頼され親しまれる警察署を目指し、改善していきたいと思う。」旨の回答があった。
- 委員から「令和2年は昨年と比べて管内における粗暴犯が増加しているそうだが、具体的にどのような犯罪が増えているのか。」旨の質疑があり、地域課長から「110番通報状況を見ると、外出制限解除以降、飲酒に絡むトラブルが多いように感じる。また、トラブルから暴行事件等に発展する場合も多いた

議 事 概 要

め、結果的に粗暴犯件数が増加しているのではないかと思われる。」旨の回答があった。

- 委員から「民生委員として活動時、独居老人と長期連絡が取れないことがあり、警察に連絡したところ、「事件性がなければ警察は動けない。」と言われたことがある。せめて見回りをしてもらうことは出来ないものか。」旨の質疑があり、地域課長から「警察は安否確認等の通報が入った場合は現場を確認し、場合によっては窓ガラスを割って家の中を確認することもある。詳細な状況を確認し、適切な対応を取るよう指導を徹底していく。」旨の回答があった。
更に、他の委員から「数年前、近所の高齢者と連絡が取れないことがあったが、警察官が来てくれた。更に県外に住んでいる家族と連絡を取り、家屋内に入る許可を取って室内を確認してくれたことがあった。また、夜間にいつも少年が集まっている箇所があったが、警察官が見回りをしてくれたことで少年が集まらなくなった。交番勤務の警察官にはとてもお世話になっている。」との意見があった。

【閉会】